



クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」
出会いと絆を大切に

会長：北 健司 例会日：金曜日 12:30～13:30
副会長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川
副会長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
幹事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
会報委員長：枋本 正樹 E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



<コラム>

2019年9月20日(金)2419回(9月第3例会)

先週の記録

幹事報告

幹事 青山 博徳君

◎10月のドレスコードはクールビス対応でも可と致します。
◎春日井 RC 公式ジャンパーの追加オーダーを事務局で受付中です。新入会員のみならず、ご希望の方はご注文下さい。
◎10月12日・13日のWFF買い物チケット届きました。本年は両日会場内の東尾張分区ブース「小柳出君のお店」にて配布します。
◎10月25日の名古屋城本丸御殿での例会は同伴者も参加出来ますので奥様もお誘い下さい。尚、例会開始は10時です。

◎例会変更のお知らせ

尾張旭 R C	9月27日(金)→9月28日(土) 月見夜間例会の為
名古屋錦 R C	10月2日(水)→10月1日(火) ガバナー公式訪問の為
名古屋丸の内 R C	10月3日(木) 秋の家族会の為 御園座

◎例会休会のお知らせ

名古屋空港RC 9月23日(月)休会
小牧RC 10月2日(水)休会

出席報告

委員長 藤川 誠二君

会員 53名	欠席 23名	出席率 56.6%
先々週の修正出席	欠席 3名	出席率 94.3%

ニコボックス委員会

委員長 梅村 守君

○卓話よろしく 新美 治男君
○祝福を受けるよろこびで 大原 泰昭君
○コストコ出店決定!! 青山 博徳君

歓迎



江南市大間町南大間 11-1

国際ロータリー第2760地区
2019-20年度 ガバナー
伊藤 靖祐
生年月日 1959年(昭和34年)
11月1日
所属クラブ 江南ロータリークラブ
職業分類 幼稚園
勤務先 学校法人聖英学園
役職 理事長
所在地 〒483-8252

本日のプログラム

司会 春日井RC 稲垣 勝彦君

- ・日本のロータリー100周年記念の鐘
点鐘 春日井RC会長 北 健司君
- ・国歌 「君が代」
- ・ROTARY SONG 「我等の生業」
- ・ビジター紹介 春日井RC会長エレクト 和田 了司君
RI第2760地区 ガバナー 伊藤 靖祐君
RI第2760地区 地区幹事 南村 朋幸君
- ・歓迎挨拶 名古屋空港RC会長 稲熊 正徳君
- ・食事・歓談
- ・会長挨拶 北 健司君
- ・幹事報告 春日井RC 青山 博徳君
名古屋空港RC 阿萬 裕子君
名古屋城北RC 山田 恭敬君
- ・出席報告 春日井RC 加藤 宗生君
名古屋空港RC 伊東 由之君
名古屋城北RC 玉置 政利君
- ・ニコボックス報告
春日井RC 梅村 守君
名古屋空港RC 内海 辰巳君
名古屋城北RC 加藤 田鶴君
- ・卓話 RI第2760地区ガバナー 伊藤 靖祐君
- ・御礼の言葉 名古屋城北RC会長 舟橋 伸治君
- ・日本のロータリー100周年記念の鐘
点鐘 春日井RC会長 北 健司君

基本教育と識学向上月間/ロータリーの友月間

例会予定	9月27日(金) 休会 (定款8-1)	10月4日(金) 第4回理事会 11:15~ 卓話 清水 勲君 米山奨学生 ゲン・クイン・フォン様	10月12日(土)~13日(日) 10月11日(金)例会変更 WFF 久屋大通公園 両日 13:30 ブース前にて写真撮影	10月18日(金) ・祝福 ・卓話 ミスケローナ 加藤 茂君
------	---------------------------	--	--	---

○夫人誕生日の祝いを受けるよろこびで

梅田 英夫君

○新美さん、水上さんの卓話楽しみにしています。

足立 治夫君 稲垣 勝彦君 大西 信之君

加藤 茂君 加藤 宗生君 川瀬 治通君

北 健司君 近藤 太門君 清水 勲君

社本 太郎君 宅間 秀順君 朽本 正樹君

内藤 修久君 長曾 篤志君 成瀬 浩康君

野浪 正毅君 場々大刀雄君 藤川 誠二君

古屋 義夫君 三上 努君 屋嘉比良夫君

山田 治君 和田 了司君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話

新美 治男君

大変出席が少ないので'自己紹介'と致しました。

此処に2つのセラミックが有ります。1つはロータリークラブ入会の時、2つ目は現在作っているもの。卓話の中で説明いたします。生まれは1931年ずいぶん昔の話になります、処は半田市亀崎町(半田亀崎女の夜這いで有名なところ)。我が家は酒造業、郵便、木材、石炭商等を小規模に行って居ましたが私の子供の頃は本業が石炭商でした、当時は第一次産業革命の時代で、石炭は黒ダイヤと言われました。自宅は可成り広くて お客の出入りは激しく、時には芸者を揚げて騒いでいたり随分騒々しかったのを覚えています。1941年父死去し、又その年太平洋戦争が勃発した、最初のうちは勢いが良かったのですが段々萎んで行き、やがて耐乏生活、食料は配給制度となり弊社の石炭業は全国統制統合となり休止致しました。終戦後 1949年燃料業許可され再開しております。1942年半田中学に入学、現在の半田高校です。This is a pen.の英語は敵国語とかで禁止となりました。間も無く学徒動員で半田の中島飛行機に通う事になりました。工場では飛行機の胴体にリベット打ちをしておりました。或る朝、突然空襲警報が鳴り爆撃が始まりました。私は自宅を出る前でしたので防空壕に避難して無事でした、自宅と工場とは2000メートル離れていましたが家の近くまで爆弾が落ち大きなクレーターが出来て居りました。爆撃は1時間ほど続き一度の爆撃で飛行機工場は壊滅してしまいました。

そして終戦、あの日の事は鮮明に覚えています、大変暑い日でした、学校の講堂に集合して終戦の詔勅を聴きました、ラジオはザアザアと雑音が多くて聞き取りにくい状態でしたが途中で突然配属将校が軍刀を抜いて足音荒く出て行きました、私は直立不動で立っていました、指先から汗がしたたり落ちるのが分かりました、戦争が終わった事はほぼ分かりました。あまり授業を無いまま卒業。1947年どさくさで慶応義塾へ、校舎は仮設で窓にガラスも破れていて外套を着ていました。翌年日吉校が戦時中は海軍の司令部として使われていたのですが戦後

は米軍に接収され1948年米軍から返還されました。米軍が建てた蒲鉾兵舎で授業が始まりました、教室に初めて石炭ストーブが入り暖かくて喜んだのを覚えています。1954年卒業と同時に家業手伝いとして練炭工場に入社しました、燃料は時代の変化で個体から液体、気体に、燃料革命が始まっていました。更に悪いことに1957年伊勢湾台風中部地区を襲いました(死者5000人)、練炭工場は山崎川の傍に有りました、堤防が決壊して水没してしまいました、堤防が塞がるまで2ヶ月間水中に没して居り、復興しても将来の見通しも悪いし、石炭産業は斜陽産業となっていましたので断念する事に致しました。新しくLPガス事業を始める事になりました。販売競争はどの時代も大変厳しいものです、私は燃焼設備を技術開発して販売する事に致しました。今日見て頂いている瓦もその一つです、奈良の東大寺の大仏殿の大修復の瓦です、歴史のお手伝いをさせて頂きました(余談ですがこの燻し瓦は炭素の二次元の結晶で3次元になるとダイヤモンドになります)。特許も40ほど取りました。最近では設備だけでなくセラミックそのものも作っています、2つ目がニューセラミックのポンプです、腎不全の方の血液透析用です、血液を浄化して身体に戻すときの定量ポンプです、不純物が混入しない様に全てがセラミックで精密に作られています。些かですが医療にお役にも立っています。

1979年 オイルショックがありました。原油が2ドルから35ドルへ一気に上がりましていわゆるトレットペーパー事件です、因みに現在は50ドル前後ですが150ドルの時もありました、原油の原価は安い国は中東で10ドルくらい高いところは50ドル、ロシアは高い方で儲かっている、アメリカはシェールオイルでその中間でしょう、アメリカは未だ相当埋蔵量があったのに取り出せなかったのですが、技術開発によって容易に採掘できるようになり現在はゴールドラッシュでならぬオイルラッシュです。石油の価格は一般の商品とは異なり政治等諸々の要因がからまっておりますので中々分からない。現在もイラン情勢が不安材料です。イランはこれで2度目です、第1回目は突如イランが一方的に採油設備を国有化(乗っ取りです)欧米の石油会社は怒って経済封鎖を致しました、海賊と言われた男'出光佐三さん'は国際包囲網の網をくぐってタンカーを入れたのです。もう1つはバブル(ゴールドの名刺)とバブルの崩壊がありました。1986年頃始まり1990年頃崩壊しました。土地の価格の暴騰と反落、株式は日経ダウが4万円まで急上昇して2万円辺りまで暴落いたしました、現在も2万円くらいでしょう。崩壊のはじまる1年程前辺りから私は日本の状況と海外の姿との乖離が甚だしいので大変不安を感じる様になって居ました。色々な誘惑が有りましたが一切乗らない事に致しました。従っ

てスムーズにリタイヤ出来たと思います。1996年65歳で息子にバトンタッチをしてリタイヤ致しまして晴耕雨読の生活に入りました。子曰く30にして立つ(私も新会社を作り独立致しました)、40にして惑わず、50にして天命を知る、60にして耳順う、70にして己の欲するところに従えども則を越えず。趣味はゴルフ、囲碁麻雀、音楽、船等ですが一番はゴルフです、随分以前になりますが当倶楽部の方とスコットランドをレンタカーで旅して、セントアンドリュースオールドコース、ターンベレイ、カヌースティ等を回った事は楽しい思い出です。最近ではオーガスタのマスターズを観に行きました。ゴルフは歩いてラウンドする事を基本にしておりましてまあ散歩みたいなものです。この7月には木曾駒高原カントリーでエージシュートが出ました。私は子供の頃病弱でしたので短命だと思って居ました、同期の友人で車の運転、ゴルフする方は1人もいなくなっていました。人の寿命は分からないものです。名古屋大学の祖父江先生から伺ったセンテナリアン、百寿者の話を御紹介致します。日本で100歳以上の方が約5万人です、しかし自活出来る方は一割以下だそうです。

- 1、6時間30分の睡眠、
 - 2、過度のアルコール、ソルト、シュガー
 - 3、過食、熱いもの、焦げたもの、古いもの。
 - 4、死の四重奏 肥満、糖尿、高血圧、高脂血症。
 - 5、肉欲、食欲、睡眠欲、喜怒哀楽 養生訓
 - 6、寒気、湿気、ビールス、ストレス、化学物質
- 以上がセンテナリアンの心すべき事と伺いました、御参考迄に申し上げます。

春日井ロータリークラブについて。

春日井ロータリークラブには須田さん、岡島さんのご紹介で入会させて頂きました。永く在籍しながら何のお役にも立たなくて大変申し訳ないと思って居ます。2、3思った事を申し上げます

- 1、ロータリークラブは奉仕活動を主たる目的とした団体であると思って居ます。ごく一部の方と思いますがエリートの社交クラブだと思っている方がいらっしゃいます。それと饗応もどうかと思います、ゆとりがあるならドネーションしたら良いでしょう。
- 2、出席免除、此れも良くない、どうも自分の事を言っているようで申し訳ございません。

免除になる前はクラブに迷惑を掛からないように海外でも可能な限りメイキャップを致しました、お陰で色々な国の倶楽部に出席する事が出来、大変有益でした、免除になるとついつい怠けてしまいます。

- 3、ポールハリスフェロー、米山はドネーションの制度としては大変優れた制度だと思います、献金は下手をすると強要、脅迫等もあって中々真の援助になりにくいものです、その点ロータリーの仕組みが確りしているので安心です。春日井ロータリークラブが健全に発展されることをお祈りしています。

卓話

水上 耕一君

自己紹介とMUF Gの歴史

皆様こんにちは。三菱UFJ銀行の春日井支店長の水上です。伝統ある春日井ロータリークラブに銀行としてこの7月から入会させて頂き、また早速卓話の機会を頂き本当に有難うございます。本日は私自身とMUF Gの歴史を紹介させて頂きたいと思えます。まず私自身のことですが、父は三重県の伊賀上野出身、母は岡山県の倉敷玉島という港町出身で、二人とも基本都会育ちでは無いので、自分自身は基本純朴な田舎者の性格だと思っています。育ちは主に東京で育ったのですが、就職時の縁で平成5年に東海銀行に入行しました。銀行員として最初に東京の調布支店と愛知県の江南支店で仕事をしました。仕事の出来ない若手でしたが、お客様には本当に可愛がって頂き、当時支店内で行った送別会にお客様に来て頂き、ビデオ撮影してプレゼントしてくれたテープは今も宝物です。にも関わらず1999年の金融危機時に、お客様に十分役立てなかったことが本当に悔しく、それが後々の仕事に対するモチベーションとなりました。そこから17年間、銀行の市場部門で働いていました。為替や金利、デリバティブの世界です。ここで相対するものは、真剣勝負のマーケットの世界で、あらためて仕事の厳しさと向き合いました。2018年4月念願叶ってようやく春日井支店長として現場に戻ることが出来ました。激動した金融環境下での経験とお客様に受けた恩を胸に力の限りお役に立ちたいと思っております。話は変わりますが、今趣味は登山で山の仲間とテント担いで冬山も含めて楽しんでます。冬山は約20kg超の荷物を担いで、寒ければマイナス20度の山を歩きます。パーティーで協力し助け合いながらも、最後は誰も頼れない中白銀の山頂を目指す。少々ストイックな性格なのかもしれません。さて自分の話はこれくらいにして、次のMUF Gの歴史の話をしたいと思えます。なぜMUF Gの歴史と思われるかもしれません。私たちMUF Gは合併で社名が何度も変わり、また正式名称も長いことあって、今お客様から呼ばれるのは、一番多いのがUFJさん、次が三菱さん、この地区ですと東海さんと呼ばれることもあります。私は東海銀行に入行し、その後UFJ、三菱東京UFJと経験しているので昔の名前で呼ばれるのも嬉しいのですが、MUF Gとはどんな銀行なのか正しく知って頂ければと思ってお話し致します。MUF Gの発祥で最も古いものは、1656年の摂津の国の鴻池両替店から始まります。鴻池は戦国武将の尼子家の家臣山中鹿之助の子と言われ、清酒の大量生産手法を開発し財を成した当時の財閥で、この両替商が三菱為替や横浜正金よりも3年早い1877年の十三国立銀行、後の鴻池銀行となり、1878年に船場の繊維商人によって設立された三十四銀行、また1879年に設立された百

四十八国立銀行、後の山口銀行ですが、この3行が1933年に合併したのが、三和銀行です。三和銀行は非財閥系の銀行として庶民の銀行を標榜して成長していきます。次に1880年に郵便汽船三菱会社という海運会社の顧客サービスから始まった荷為替金融が源流となって三菱為替店が創業、その後1919年に三菱銀行となり大手銀行として発展していきます。また先ほどの三菱為替店と同じ1880年に貿易金融で日本の海外進出を助けるべく福沢諭吉や井上馨の支援のもと横浜正金銀行が設立され、1946年に東京銀行となります。東京銀行は日本で唯一の外国為替銀行として、戦後の日本企業の海外進出に金融面から貢献していきます。最後に東海銀行の歴史となりますが、先ほどの三菱為替店の1年後1881年私立銀行として、尾張藩御用達商人のいとう呉服店、現松坂屋によって伊藤銀行が設立されました。伊藤銀行はもともと藩財政に関わり、明治維新後も伊藤為替方として三河地区の公金を取り扱っていたのが源流です。その伊藤銀行の翌年、1882年名古屋の商人が中心となって名古屋銀行が設立。最後に1896年に先ほどの伊藤さんを中心とした商人が設立した十一国立銀行と百三十四国立銀行が母体となって、藩主であった尾張徳川18代や士族が発起人となり愛知銀行が設立されます。この3行が合併し1941年東海銀行が設立となります。そして1943年我々が、勝川町・鳥居松村・篠木村・鷹来村が合併し春日井市が誕生します。当時の春日井市の人口は5～6万人程度でした。同じ年に東海銀行大曾根支店鳥居松特別出張所として開設、1945年に支店に昇格し春日井支店に、また翌年1946年に勝川出張所と高蔵寺出張所を開設。春日井支店は1967年に現地に移転して今に至ります。おかげ様で春日井市の発展とともに、春日井、勝川、高蔵寺支店は愛知県でも有数の規模の拠点となり、春日井支店は約50人のスタッフで法人・個人様の貸出・預金のフルラインナップで営業を行っております。今お話したMUFJの歴史を見れば、それぞれ地元の人達が、住民の貯蓄増進と地元の産業の育成と発展を願い設立し、地元の発展と支援により大きくなってきたのがわかります。我々は決してそれを忘れず、地元の人々や企業を大切に、お役にたてる業務を行わなければならないと肝に銘じて行動したいと支店長として思っております。今回春日井ロータリーに入会させて頂き、自らの意識や行動をより高めていくこと、そしてより社会の発展に寄与したいと思います。何卒ご指導をお願い致します。大変有難うございました。



卓話 新美 治男君



卓話 水上 耕一君



祝福 会員誕生日



祝福 アテンダンス表彰